

令和7年度若者活躍局政策提案一覧

提案名称	提案内容	提案者
1. 移住・定住		
メンターによる起業家支援制度の創設	鳥取県は起業後サポートが少なく、起業家が地域に定着しないリスクがあるため、県内の経営者が新規起業家への経営面・メンタル面のサポートを実施する「FLAT MENTOR制度」を創設し、起業後の縦のつながりを支援することで、ローカルスタートアップ・ローカルゼブラを目指す者を増やす。	川村 諒志
東京における鳥取県関係企業のネットワーク強化	鳥取県にゆかりのある学生や社会人が首都圏で鳥取と触れる機会が少なく、鳥取に戻るきっかけが得にくいため、首都圏に所在する鳥取県にゆかりを持つ企業を「とっとり関係企業」として捉え直し、連携を強化することで、県内事業者とのビジネス創出や首都圏在住の若者等のUターン等に繋がる、日常的な鳥取との接点を生むネットワーク構築を進めていく。	西岡 大穂
とっとり未来人材バンクの創設と教育現場のマッチング支援 【とっとり未来創造タスクフォース連携提案】	学生と地域の大人との接点が少ないため、県内外で活躍する若手人材を「人材バンク」として集約・可視化し、教育現場とつなぐ仕組みを整えることで、若手人材等との活躍の場を創出し、将来の若者の定住・Uターンにつなげる。	佐々木 啓太 井手野 貴将
親から始まる地域愛着ハック～地域への愛着を親から子へシェア～	親が地域に対して愛着を持ち、子どもに地域の魅力を伝えられている状態が不足しているため、「とっとり県民の日」を契機に、地域への愛着を更に深めるコンテンツやプロモーションを実施し、親が子どもに対して鳥取の魅力・課題を伝えられるような意識の変容を促進、郷土愛の醸成を図り、将来の若者の定住・Uターンにつなげる。	鹿田 拓也
2. 関係人口創出		
親しみやすい歴史観光コンテンツの創出	鳥取県内に数多くある文化財や史跡に関する情報は文章説明が多く訴求力が弱いため、観光サイトを視覚的に魅力が伝わるよう内容を充実させ、文化財保存と活用の好循環につなげる。	徳竹 創来
県外出身学生に響く食フェスの開催	将来的に関係人口になりうる県外出身で鳥取県内に進学している大学生に、鳥取県内の食の魅力を知ってもらうため、Instagram等のSNSを活用したキャンペーンを実施する。また、大学生が地元から家族や友人を連れて来たいと思わせるようなテーマ性のある食フェスを実施する。	大久保 英美
3. 男女共同参画推進		
子育てしながら働きやすい環境整備の推進	イクボス・ファミボス宣言をしていることが知られていなかったり、職場の状況により育児休暇等を取得しにくい現状があるため、イクボス・ファミボス宣言を行った企業向けに定期的な自己チェックを促したり、フェムテックを活用した社内研修に取り組む企業を支援することで、女性活躍に取り組む企業の子育て世代が働きやすい環境づくりを促進する。	礒江 沙季
4. 教育		
“まちなか防災設備”の体験・発見イベントの実施	ぼうさいこくたい2026をきっかけとした親子や若者の防災意識の向上を目的に、まちなかの防災設備をめぐって体験するスタンプラリーやフィールドワークなどをSNSキャンペーン等と併せて実施する。	畠 道加
5. 持続可能な地域づくり		
親子連れ投票の促進を目的とした選挙啓発事業	子育て世代の投票率の向上と将来世代の投票率向上を図るため、親子連れ投票の周知を行うとともに、期日前投票期間に親子連れ投票を行った小学生以下の子どもに「親子連れ投票記念証」を配布する。	木村 海翔
高校生の主権者意識向上	政治が身近なものだと認識できていない若者が多いため、高校生議会の前後で学生同士の意見交換の機会を設け、鳥取県の課題や未来を語り合う場を設けるとともに、高校への県議会議員派遣等を通じて、若者が政治を身近に感じ、自らが民主主義の一員であることを学ぶ場を作る。	杉本 僚哉
6. 庁内改革		
県職員広報担当者の力を高める！SNS戦略と効果測定の仕組みづくり	県施策の情報発信を強化するため、全庁向けに研修を実施することで各部局での広報意識を向上させる。また、鳥取県イメージ調査事業の調査項目に大阪・関西万博における情報発信について追加し、効果測定を実施する。	井手野 貴将